

2022年7月12日

放送事業者の皆様へ

番組制作現場のハラスメント撲滅に向けて

一般社団法人全日本テレビ番組製作社連盟 (ATP)
理事長 福浦 与一

私たち ATP は、番組制作が健全に行われるために、制作現場で起きている問題に向き合い、都度、放送事業者に改善を求めていくことを、重要な活動のひとつとしています。こうした中で、このところ映像業界のハラスメントに関する報道が続いていることを強く危惧しています。中でもパワハラの問題は、放送事業者の皆さまと私たち制作会社が、いま制作現場で起きている問題として共有し、イコールパートナーとして共にパワハラ防止、撲滅に向けて動き出さなければならぬと考えています。

放送事業者の皆様は、これまでも事あるごとに、制作会社スタッフも含めた番組制作現場の意識改革を進めてきたことと存じます。それにもかかわらずハラスメントが無くならないのは、ハラスメントを受けた側が声を上げにくい環境が、いまだにあるからではないでしょうか。制作現場で起きるパワハラは、ともすれば担当者個人の資質の問題として矮小化されがちですが、そうした個人を生み出す土壌がある根深い問題だと私たちは捉えています。

私たちは、いち製作者として、より多くの視聴者に受け入れられる魅力的な番組を作り続けたいという思いを強く持っています。番組制作現場が健全に運営されなければ、それも叶わなくなってしまいます。視聴者からの支持を失わないためにも、放送事業者と制作会社によるハラスメント撲滅のための体制作りを進めることを提案いたします。

是非、ご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

以上